



施工完了 チェックシート

確認日	年 月 日
確認者	

1□から7□を



◆施工完了後は、必ず以下のポイントをチェックしてください◆

1 □ クイックファスナーを正しく取り付けられていますか

- クイックファスナーが確実に固定されていること。
- 給水ホースが回らないように持ち、クイックファスナーが軽く回ること。
- 給水ホースを引っ張っても抜けないこと。

* クイックファスナーが正しく取り付けされていないと水漏れが発生するおそれがあります。再度、取り付け手順に従ってください。

2 □ 止水栓を開けていますか

- 水道の元栓を閉めた場合は開けてください。
- 十分開いていないと水勢が得られないことがあります。

3 □ 水漏れしていませんか

- 水漏れがないか必ず確認してください。
- 水漏れしている場合は、必ず止水栓を閉め、再度正しく接続してください。

*洗浄中、ノズル周辺部から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。【P.13】

4 □ 電源が入っていますか

- 電源ランプが点灯していることを確認してください。

お願い
●試運転は、必ず行ってください。【P.12】

配管方法などはイラストと異なる場合があります。

5 □ 温水タンクに水が入っていますか

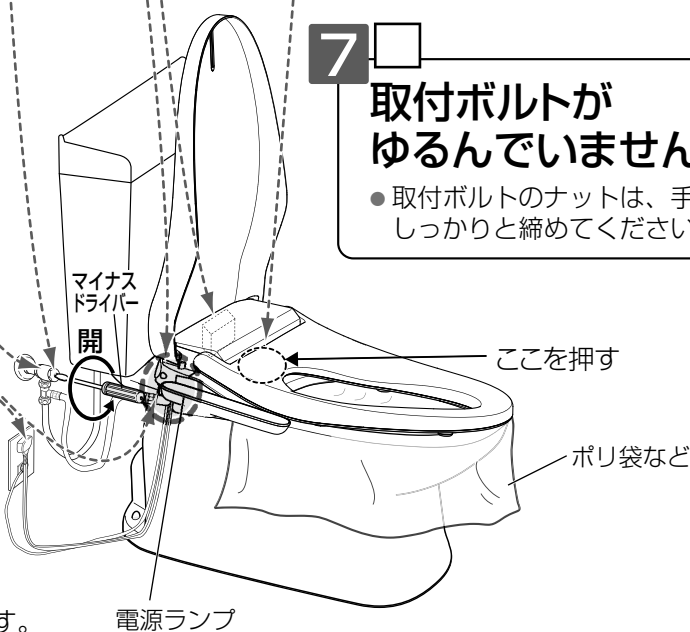
- 施工完了後、ノズル掃除スイッチを押すと、ノズルが出て、タンクに注水を始めます。約1分後、ノズルから水が下向きに出るとタンクに水が入っています。

6 □ 着座センサーは正常に働きますか

- ポリ袋など便器にはさむ。
- 便座の左後部を押し、「カチッ」と音がするのを確認してください。着座ランプが点灯します。
- 便座の脚ゴムが便器の上にきちんときっさり載っていないか、ノズルの下の凸が便器に載り上げていませんか。正しい位置に取り付けができていない場合は、正しい位置に本体を取り付け直してください。

7 □ 取付ボルトがゆるんでいませんか

- 取付ボルトのナットは、手でしっかりと締めてください。



Janis

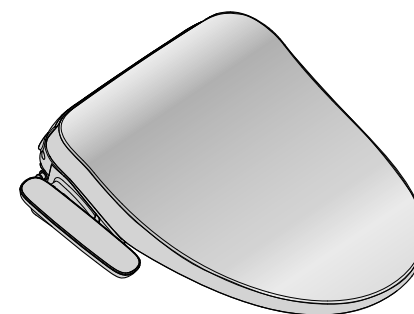
温水洗浄便座

SawaLet

サワレット

施工説明書

JCS-630ENN



	ページ	
1	●安全上のご注意…………… 2	準備
	●施工の前に…………… 3	
	●各部の名前と同梱部品の確認…………… 4	
2	●施工の流れ…………… 6	施工
	取り替えの場合	
	●止水栓を閉め、給水ホースを外す…………… 7	
	新規設置の場合	
	●分岐金具（給水ホース付き）を取り付ける… 7	
3	●本体を取り付ける…………… 8	取付
	●給水ホースを本体に取り付ける…………… 10	
	●アース線の接続…………… 11	
	●止水栓を開ける…………… 11	
4	●試運転…………… 12	試運転
5	●こんなときは…………… 14	確認
	●施工完了チェックシート…………… 裏表紙	

家庭用

施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」【P.2】は、施工前に必ずお読みください。

●施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。

ジャニス工業株式会社

本社：〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地



ADL944PZ1LCO
CS1123-10124

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



注意



■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方、交流100 V以外での使用はしない

(たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因)

■ 電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない

(傷んだまま使用すると、感電やショートして火災の原因)

■ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない

(感電や発熱による火災の原因)

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

(感電の原因)

■ 上水道以外には接続しない

(ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こす原因)

(腐食や異物付着による水漏れの原因)

■ バスルーム内など湿気の多い場所には設置しない

(感電や火災の原因)



■ D種接地工事を行う

(アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因)

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因)

■ 施工は、施工説明書に従って確実に施工を行う

(説明書に従って行わないと、水漏れ、火災、感電の原因)

■ 施工は、必ず同梱部品および指定の部品を使用する

(指定の部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因)

■ 電気工事は、内線規程に従って施工する

(内線規程に従わないと、火災、感電の原因)

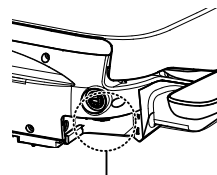
■ コンセントのアース端子にアース線を取り付ける

(アース工事がされていないと、漏電のときに感電する原因)



■ 本体接続口は、落下等でストレスをかけない

(ストレスをかけると割れが発生し、水漏れの原因)



本体接続部

■ 給水ホースを折り曲げたりつぶしたりして施工しない

(給水ホースに亀裂が入り水漏れの原因)



■ 水道工事などは、市町村の水道条例に基づいて行う

(条例に基づいて行わないと、水漏れの原因)

■ 移動や施工時、本体を持つ

(便座・便ふたを持つと本体から外れ、けがをする原因)

施工の前に

お願い

- 本体の取り付けが完了するまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障の原因となります。
- 本体内の残水が凍結している場合は、本体を暖かい部屋に放置し、残水がとけてから施工してください。
- 必ず同梱の給水ホース分岐金具付をご使用ください。

お知らせ

- この商品は水道水を使って検査をしています。商品を取り出す際に多少の水滴が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 使用水圧範囲は49~735 kPa{ 0.5~7.5 kgf/cm² }です。
- 本体は2本の取付ボルトと、前の片側の脚ゴムの3点で支える構造です。便座が浮いた状態で、便座の強度に問題ありません。【P.13】
- 便器の種類によっては、便座脚ゴムが便器の上に載らず、がたつく場合があります。販売店にご相談ください。

■ご準備いただくもの



マイナスドライバー



プラスドライバー



スパナ (23 mm用)



モンキーレンチ



バケツ・ぞうきん

準備

各部の名前と同梱部品の確認

① 給水ホース分岐金具付
(長さ:950 mm)

分岐金具
給水ホース

② パッキンセット
(①の部品袋に同梱)

パッキン (黒2.5 mm厚さ)

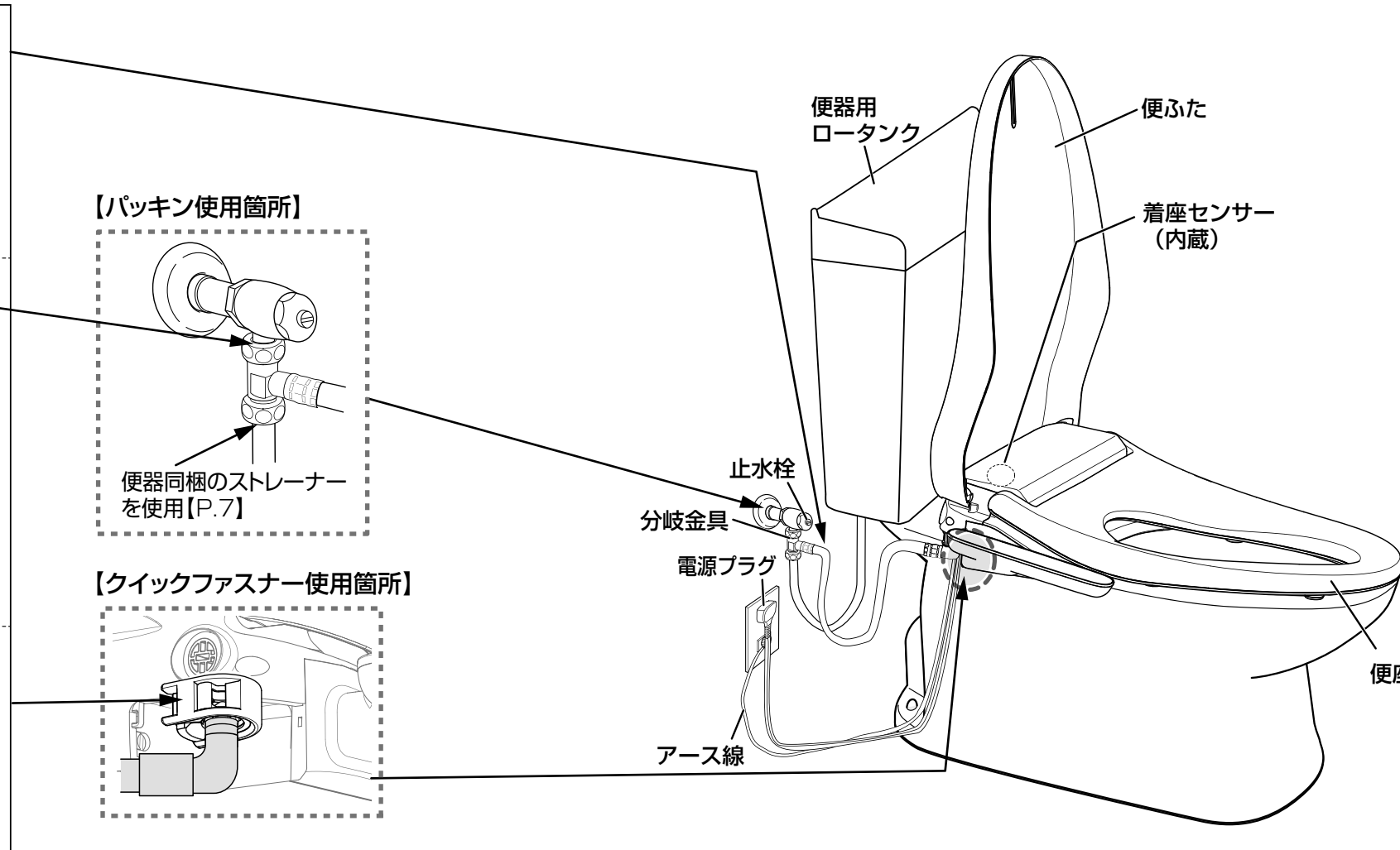
※パッキン (青2 mm厚さ)

※パッキン (黒4 mm厚さ)

※スリップワッシャー (白)

※印は使用しません。

③ クイックファスナー
(①の部品袋に同梱)

④ 取付ボルトセット

取付ボルト
パッキンB
樹脂ワッシャー
ナット

【取付ボルト使用箇所】

本体固定板【P.8】
●本体裏側に取り付けられています。

⑤ 説明書セット
(取扱説明書・施工説明書)

準備

警告

■ 分岐金具接続時にシールテープを使用しない
(シールテープがパッキンに挟み込み水漏れのおそれあり)

■ 同梱のパッキン、クイックファスナーを使用する
(取り付け忘れや、他の部品で接続すると重大な水漏れのおそれあり)

【同梱部品】 同梱部品をチェックしてください。 チェック

番号	部品名	数量	チェック欄
①	給水ホース分岐金具付	1	<input type="checkbox"/>
②	パッキンセット (パッキン 薄い黒2.5 mm厚さ×1 ※パッキン 青2 mm厚さ×1 ※パッキン 厚い黒4 mm厚さ×1 ※スリップワッシャー (白)×1 ※印は使用しません。)	1	<input type="checkbox"/> (①の部品袋に同梱)
③	クイックファスナー	1	<input type="checkbox"/> (①の部品袋に同梱)
④	取付ボルトセット	1	<input type="checkbox"/>
⑤	説明書セット 取扱説明書 施工説明書	1	<input type="checkbox"/>

施工の流れ

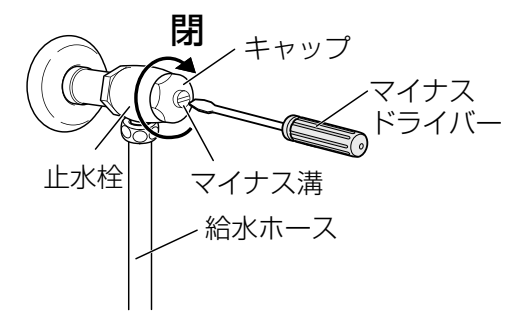
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between;"> 取り替えの場合 止水栓を閉め、給水ホースを外す </div>	P.7
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; display: flex; justify-content: space-between;"> 新規設置の場合 分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける </div>	P.7
▼	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 本体を取り付ける </div>	P.8
▼	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 給水ホースを本体に取り付ける </div>	P.10
▼	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> アース線の接続 </div>	P.11
▼	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 止水栓を開ける </div>	P.11
▼	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 試運転 </div>	P.12
▼	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> 施工完了チェックシートで確認する </div>	裏表紙

取り替えの場合

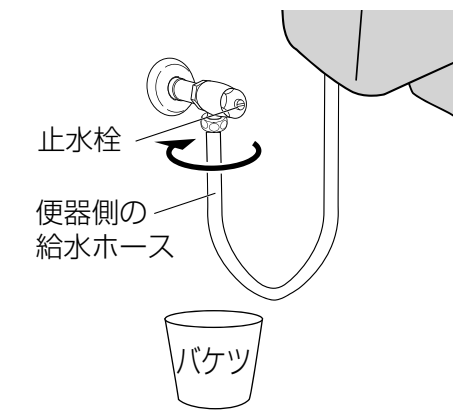
止水栓を閉め、給水ホースを外す

止水栓を閉めた後、ロータンクの水を流しきってください。

① 止水栓を閉める



② 便器側の給水ホースを外す

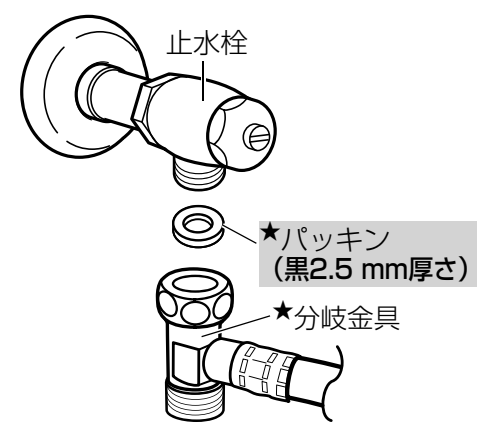


● 配管内の残水が出ますので、バケツなどで受けてください。

新規設置の場合

分岐金具(給水ホース付き)を取り付ける

① 分岐金具を止水栓に取り付ける



★は、同梱部です。

〈分岐金具の締め付け方〉

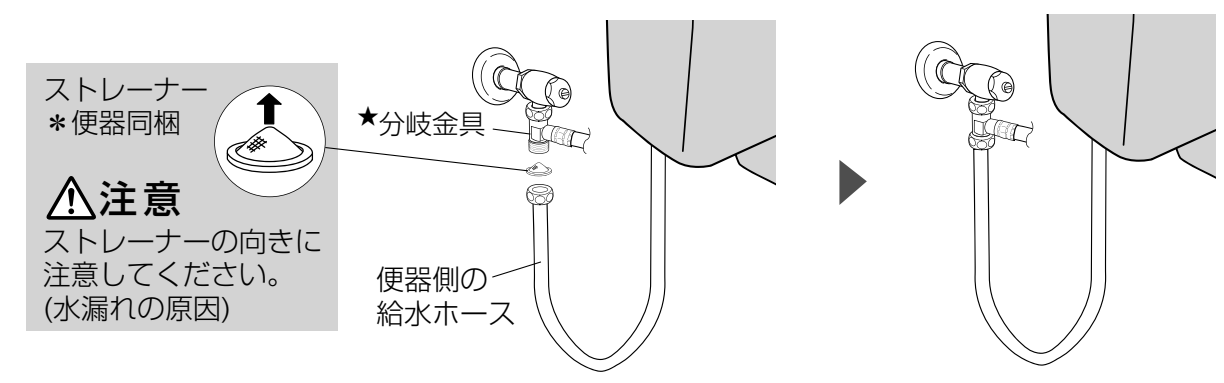
回り止めのために「プライヤー・モンキーレンチ等」の工具でこの部分を固定する

手で仮締めをし、スパナ等で締め付ける

給水ホース

締め付トルク 7.5 N·m{75 kgf·cm}
指定場所以外を工具で固定したり、給水ホースを持って締め付けない

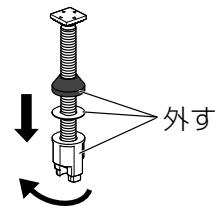
② 便器側の給水ホースを分岐金具に接続する



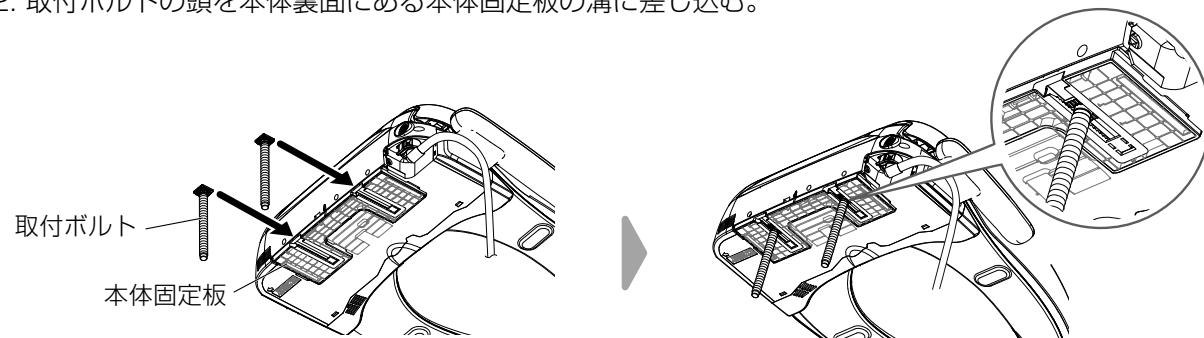
本体を取り付ける

① 本体を取り付ける

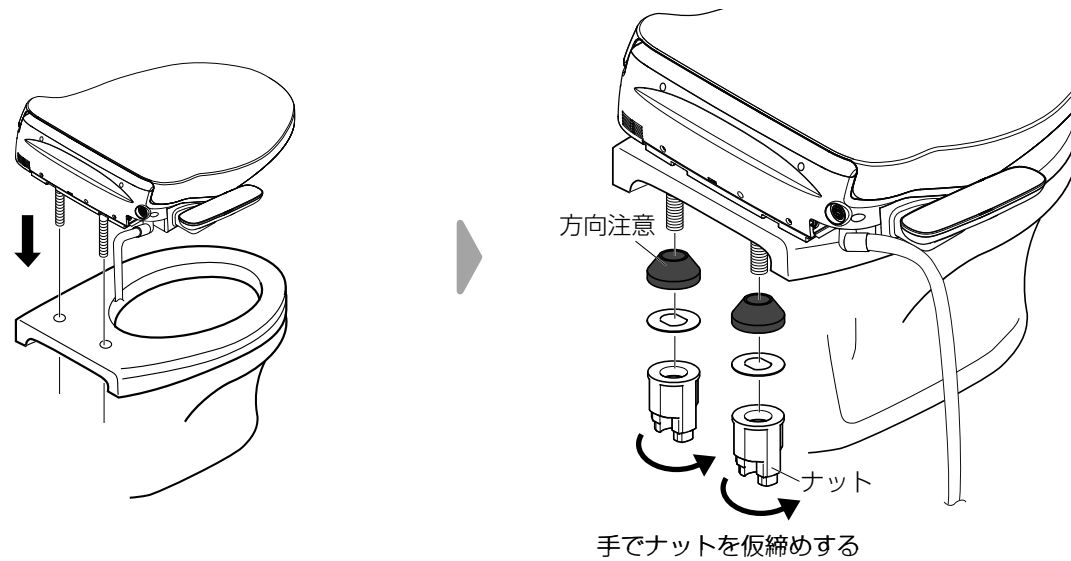
1. 同梱の取付ボルトより各部品を取り外す。



2. 取付ボルトの頭を本体裏面にある本体固定板の溝に差し込む。



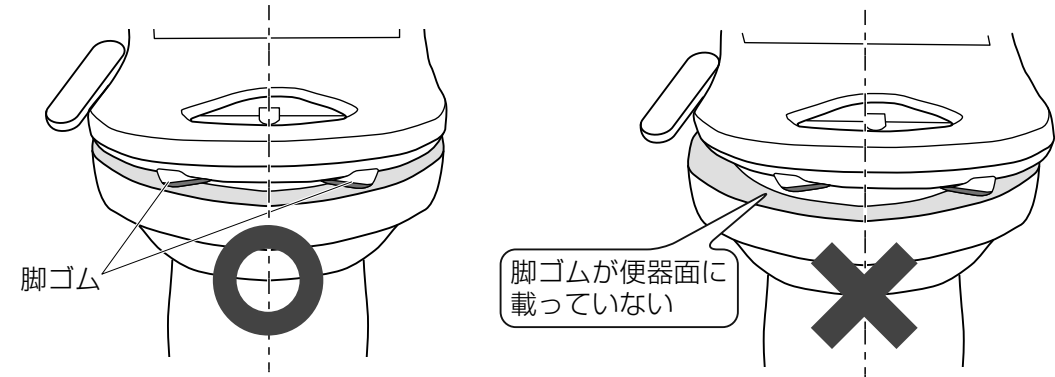
3. 取付ボルトを便器の穴に差し込み固定する。



お願い 工具でナットを締め付けしないでください。

〈取付位置について〉

- 脚ゴムが便器面と左右均等にある。
- 脚ゴムの位置が便器面の真上にある。
- * 脚ゴムが便器面からズれていると着座検知しない原因となります。

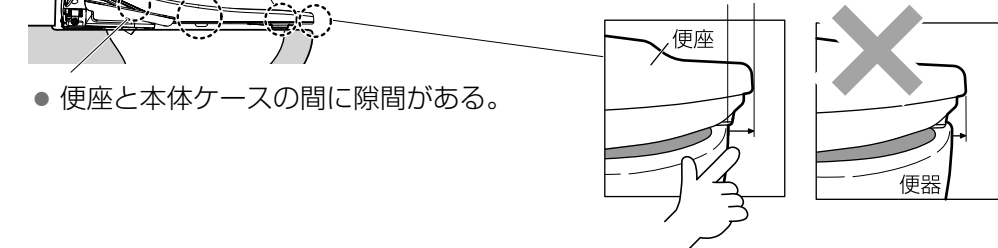


- 便ふたがロータンクに当たる場合や便ふたや便座が開き切らず倒れてくる場合は少し前に引き出す。

- 便座に向かって左側の前と後の脚は便器と接触しない。後脚は便器と3 mm以上の隙間がある。

5~20 mm程度便座先端を便器より前に出してください。

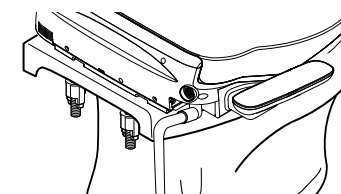
- 便座と本体ケースの間に隙間がある。



お願い 正しく取り付けないと着座検知しません。(洗浄できません)

② 本締めする

- ナットを手で締め付ける。



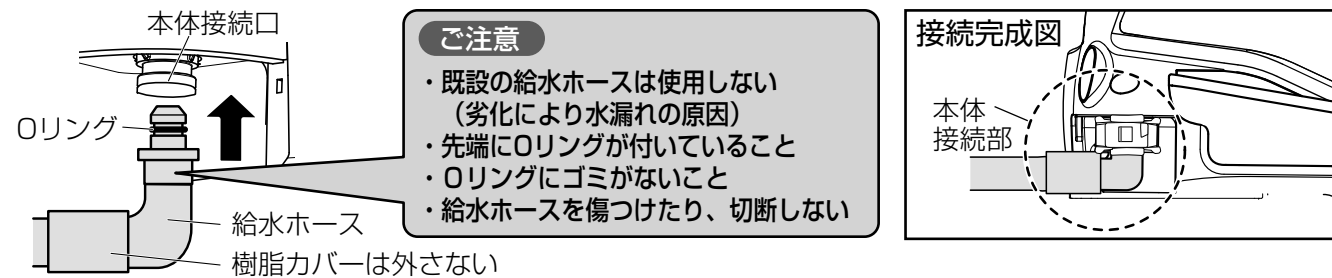
(取付ボルトが長すぎるときは金のかなどで適当な長さに切断する)

本体が便器から脱着できる構造のため、少しかたつきが生じることがありますが異常ではありません。本体を便器に施工後、本体を軽く手前に引っ張ってしっかり固定されていることを確認してください。

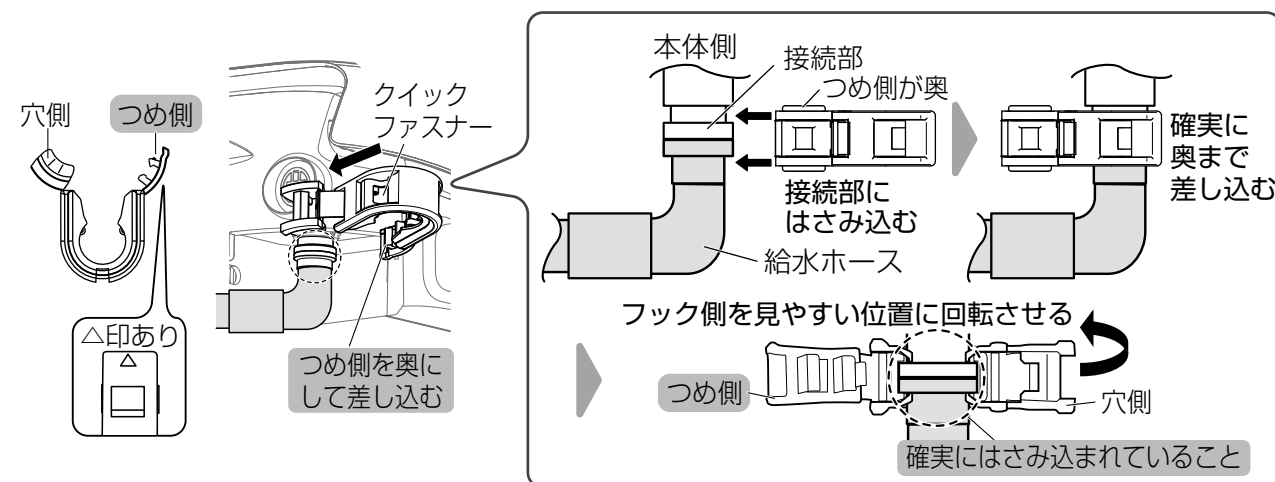
給水ホースを本体に取り付ける

重要：クイックファスナーを正しく取り付けないと重大な水漏れの原因

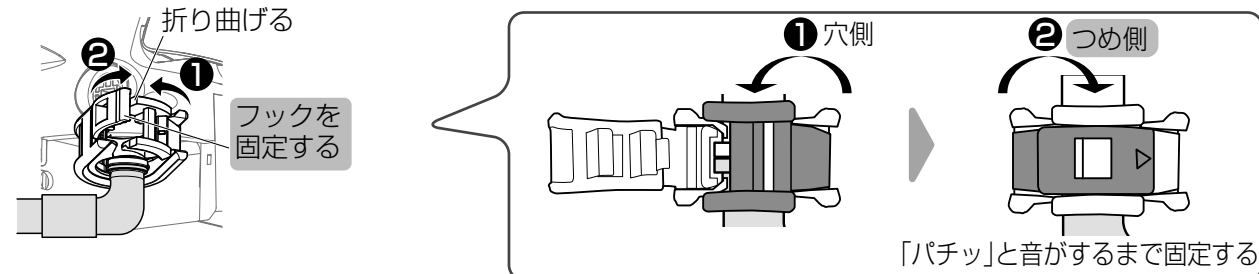
① 本体接続口に給水ホースをまっすぐ差し込む (同梱の給水ホース(L型)以外は取り付けできません)



② クイックファスナーで本体接続口と給水ホースの接続部をはさみ込む



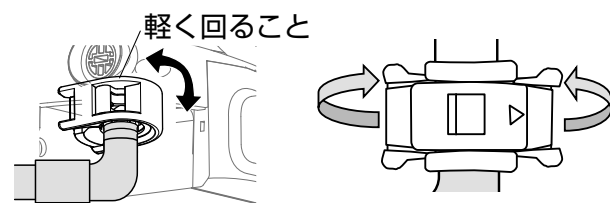
③ クイックファスナーのフックを確実に固定する



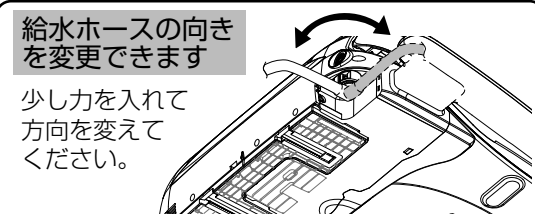
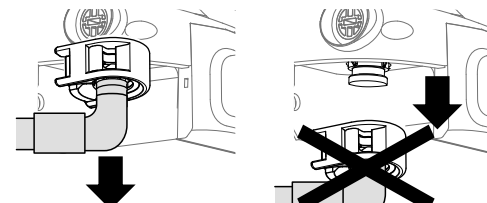
*クイックファスナーを外すときは逆の手順となります。

④ 必ず確認してください

① クイックファスナーが軽く回ること



② 給水ホースを引っ張って抜けないこと



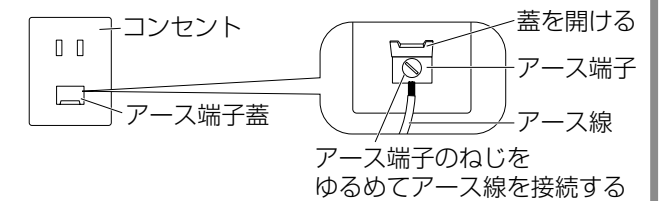
アース線の接続

コンセントにあるアース端子に、必ず接続してください

(アース付きコンセントでない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください)

電源プラグはまだ差し込まないでください。

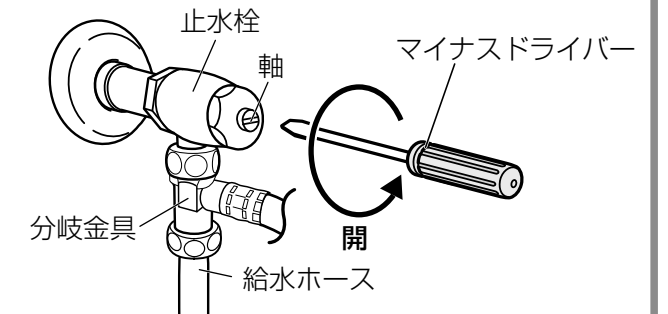
(アース付きコンセントの一例です)



止水栓を開ける

各接続部がきちりと接続されていることを確認してください。

- 水道の元栓が閉まっている場合は、元栓を十分に開けてください。
- 止水栓の軸をゆっくり開けてください。接続部などからの水漏れがないことを確認してください。



試運転

- 1** 水道の元栓、止水栓が開いていることを確認する
(十分開いていないと水勢が得られないことがあります)
給水接続部から水漏れがないことを確認する

- 2** ノズルシャッターを固定している
青色テープをはがす

- 3** 本体梱包用のポリ袋などはさむ
(便座と便器の間)

- 4** 電源プラグを差し込む
●電源ランプが約10秒間点滅後、
点灯に変わります。

- 5** 漏電テストスイッチを2秒以上押す
漏電検知テスト機能が作動し、
電源が切れます。
●漏電テストランプ(赤)点灯。
●電源ランプ(緑)消灯。

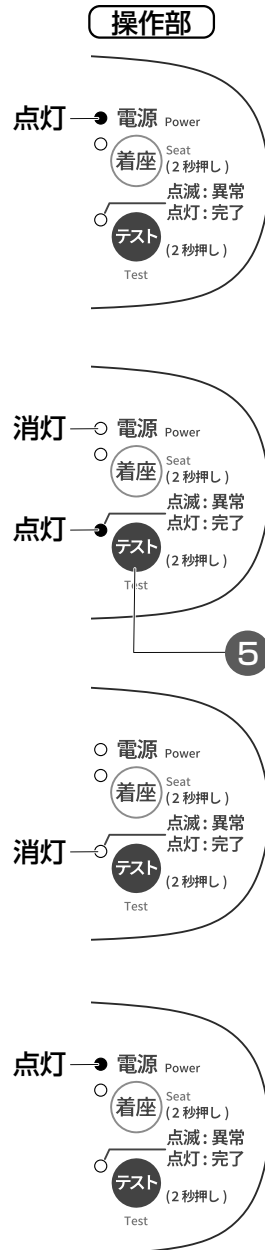
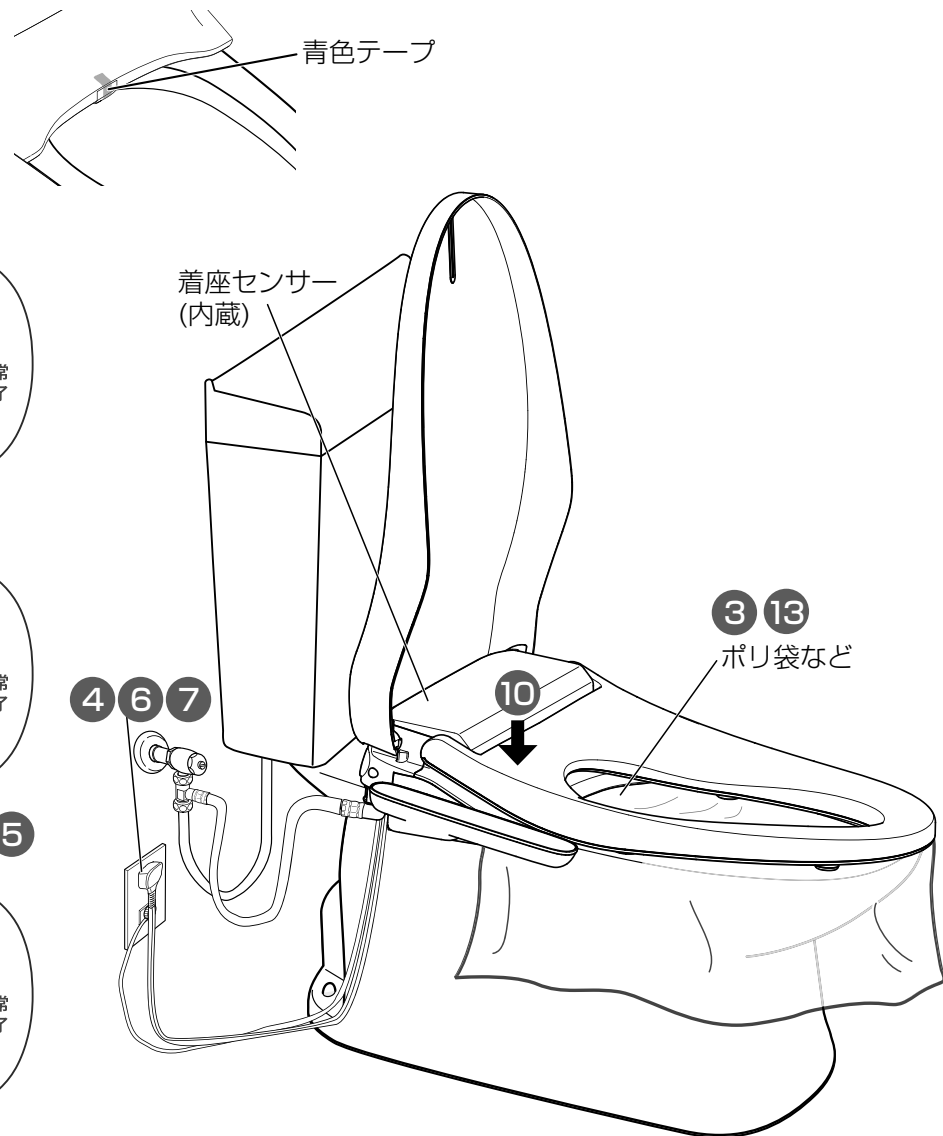
- 6** 電源プラグを抜く
●漏電テストランプが消灯することを確認
する。

- 7** 電源プラグを差す
●電源ランプが約10秒間点滅後点灯に
換わります。
●**温水** を押し、**温水温度設定**が消灯して
いることを確認する。



消灯

- お知らせ**
- 漏電テストランプが点滅する場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、工事店または販売店へ連絡してください。
 - 洗浄停止後、約7~8分間はノズル付近から水滴が落ちることがありますが、温水タンクの水があたたまったときの膨張水、またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。



- 8** **ノズル掃除** を押す
●本体の温水タンクに注水を始めます。
ノズルが出て、約1分後お手入れ状態になり、水が下向きに出ます。
水が出ない場合、水道の元栓または止水栓を開いてください。

温水タンク内の空焚きについて

- 手順**8**の時点で、電源ランプと8時間切ランプが2回点滅を繰り返している場合は、温水タンク内の空焚き表示です。**故障ではありません。**
(以下の処置をする)
●水道の元栓、止水栓を開き、手順**8**から試運転を行う。
(温水温度設定は自動で切になります)

- 9** **停止** を押す
●ノズルが元に戻ります。

- 10** 便座の左後部を押しながら (着座ランプ点灯)
おしり または **ビデ** を押す
●ノズルを洗浄し、約5~8秒後に洗浄水が出ます。
(着座検知していないと、洗浄水が出ません)

- 11** **停止** を押す
●ノズルが戻った後、ノズルを洗浄する水が出ます。

- 12** **便座** と **温水** のスイッチで温度設定し、通電約5~12分後に
便座と洗浄水のあたたかさを確認する
●ポリ袋の上から手をあて、温水が出ることを確認してください。

- 13** ポリ袋を外す

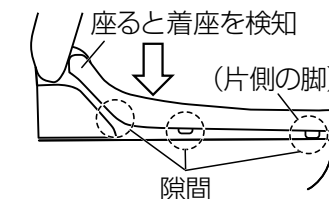
ノズル周辺部から出る水について

- ノズル周辺部から出る水は
水圧調整の逃がし水で
故障ではありません。



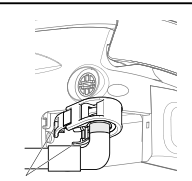
着座検知について

- 便座の後ろ脚と前の片側の脚および便座と本体ケースの間に隙間がある状態が正常です。
この隙間がないと座ったときに着座検知しません。
●便座に座ると軸部分が動いて着座検知します。



こんなときは

メモ欄

現象	原因	処置	参照ページ
着座検知しない	便座の脚ゴムが便器面に載っていない	本体を正しく取り付ける	9
電源ランプと8時間切ランプが2回点滅を繰り返す 	<ul style="list-style-type: none"> 水道の元栓、止水栓が十分に開いていない 温水タンクに注水する前に温水の温度設定を行った 	水道の元栓、止水栓が十分に開いていることを確認し、再度試運転を行う	11 13
洗浄水が出ない 水勢が弱い	水道水フィルター（水抜き栓）が詰まっている 	掃除する	取扱説明書
	水道の元栓が十分に開いていない	水道の元栓を十分に開く	—
	止水栓が開になっていない	止水栓を十分に開く	11
 接続部から水漏れする	ロータンクに給水中	水が貯まるのを待つ	—
	給水ホース先端のOリングにゴミが付着 	Oリングのゴミを取り除く	10
	ナットの締め付け力が不足	増し締めする	7
	締め過ぎによるパッキンなどのずれ	ずれをなくす	7
クイックファスナーの差し込み不足やずれ  フックが固定されていない	確実に固定する 	軽く回ること	10
	電源が入らない	電源プラグを抜き、漏電テストランプが消灯後、電源プラグを差し込む 	12
ノズル周辺部から水が出ている  逃がし水	洗浄中、ノズル周辺部から出る水は水圧調整の逃がし水で故障ではありません。		13

施工後の注意

凍結するおそれのある場合や長期間（1週間以上）使用しない場合は、水抜きをしてください（取扱説明書「凍結予防のしかた・長期間使用しないときは」参照）

確認